

質問者



重川 利春 議員

問

次期町長選の立候補表明と信念、決意を

見える、わかる、クリーンな政治目標を掲げて選ばれた白石町長もその任期を終えようとしています。

この間、清廉、高度な判断力、住民や地域を大事にする姿勢は内外に好感を持って迎えられております。次期町長選においてもこの姿勢を貫き、合併問題をはじめ内外の諸問題に対処していただきたいのが多くの町民の願いであると思います。

次期町長選挙に対する白石町長の決意と信念をお伺いし、町民の希望に応えるためにも、勇断を期待し、明確な意思表示を求めます。

答

議員、住民の支持があれば引き続き町政を担当  
答弁 白石町長

就任以来「見える、分かる、クリーン」を基本姿勢として、「快活町政を推進して参りました。町政を進めていく上で、政策の立案から実施に至る経緯を、議会や広報誌や住民との対話集会等で、「見える、分かる」形で説明し理解を得られるよう努めてきました。さらに情報公開条例を制定し、町民の知る権利を保障し、町の説明責任を明確にし、また職員の意識改革や男女共同参画の実現に向け、取り組んできました。

しかし、当町も少子高齢化、行財政改革の問題、公共下水道や筒井徳丸線の推進、企業誘致、市街地活性化策等々の課題の他、今伊予市、双海町、中山町との合併に向けた協議を続けており、大きく生まれ変わるうとしています。そして、目指すべき新しい町は、福祉、教育、安全、活力を理念とした、21世紀にふさわしいものにしなればと思えます。こうした私の考え方や姿勢を、議員や住民の皆様が支持して下さるなら、引き続き町政を担当し、責任を果たして参りたいと思えます。そして、周辺の方々から松前町に住みたい、そういった町にすべく全力を尽くしたいと考えています。

問

職員の意識啓発とその指導育成は

合併問題は、法定協議会において順次検討が進み、合併が現実のものとなりつつあります。新市建設計画も核心に至っております。職員は事務担当者であると共に、合併リー



町長室

ダーであり新市建設推進の核であります。真に合併成果を上げるには、職員の意識の程度が左右すると言っても過言ではありません。新市職員の核となる、職員の自覚と信念の涵養についてどう指導育成されるのか。

答

研修会を行い意識の啓発を  
答弁 白石町長

職員の意識啓発については、合併の基本方針を決定する過程において、全職員を対象に懇談会を開き、その後合併に関する進行状況等も課長会等を通じて周知してまいります。新市の将来像を踏まえた新市建設計画を策定していきますので、新しいまちづくりに役立つ独自のアイデアを出すなど、職員全員が参画する仕組をつくりたいと思えます。合併後速やかに一体的なまちづくりを行うため、職員が率先して意思の疎通を図り、相協力して事務事業を進めることは大切であり、自覚

問

太陽光発電の状況と将来への展望は

総合福祉センター建設と同時に設置された、太陽光発電設備の運用成果と併せて実績からみて将来への展望は。

答

技術向上で一層の普及を期待  
答弁 白石町長

14年度発電実績は、年間4万3千kwで、金額で60万円です。設置経費は40kw/hで、4,200万円、国庫補助が2分の1で、2,100万円を町が負担しております。設置総額に到達するには、町負担額でも35年かかりますが、平成14年度で約7・8トンの二酸化炭素の削減効果もあります。今後技術向上により価格が下がり、一般家庭に一層普及することを期待して